

【緑地の樹】

ウグイスカグラ

プロフィール：スイカズラ科スイカズラ属の落葉低木
中央広場から上がっていく階段の上にあります。

ウグイスカグラは、普段は、余り目立たない木です。
林の中でやや明るい所が好きそうです。 背丈は、人

と同じかやや高いかなあ。 葉っぱは、長さ3～5センチ位の緑色でやや楕円形です。 根元からずっと伸びた細目の枝に、刀のつばの形をした葉もつけています。

春になると、枝先に1～2センチの淡い紅色の花をうつむきかげんに咲かせます。 肌寒く感じる春先に、ほんのりとした温かさがただよみます。

5～6月頃になると、透き通るように実が赤く熟します。 長さ1センチ位の実を目の前にすると、思わず手が出てしまいます。 しかもとても甘いのに驚いてしまいます。

ウグイスカグラ（鶯神楽）の名の由来はいくつかあります。



- ① ウグイスの鳴き始める頃に花が咲くため。
- ② ウグイスなどの小鳥を捕える場「狩り座」がなまってカグラ・カグラとなる。
- ③ 小枝が細くウグイスが隠れるのに良い樹形。 またウグイスがこの木の枝を渡り歩く姿を「神楽舞う」としたことによる。

花言葉は「未来をみつめる」、季節の移り変わりと共に木々の小さな変化に気づかされ、驚かされます。 心和ませられ、気持ち穏やかになりますね。

